



サルビアレター



一人ひとりが輝くまち、燕市を目指して

2023年3月発行
燕市企画財政部地域振興課

リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉知っていますか？

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」は、「性と生殖に関する権利」と訳され、1994年にカイロで開催された国際人口開発会議において提唱された概念です。

「リプロダクティブ・ヘルス」とは、性や子どもを産むことに関わる全てにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも本人の意思が尊重され、自分らしく生きられることです。

「リプロダクティブ・ライツ」とは、自分のからだに関することを自分自身で選択し、決められる権利のことです。

「私のからだは私のもの」「産む・産まないは女性の自己決定」という言葉は、当事者である女性自らが自己決定することを表しています。この権利の獲得は、すべての人がジェンダー(注1)に基づく暴力などによって傷つけられず、身体・性について正しい知識を持ち、生涯にわたって選択が尊重される社会を創造していくためのものといえます。

(注1)ジェンダー【gender】：生物学的な性別(sex)に対して、社会的・文化的につくられる性別のこと。

男女共同参画講座を毎年実施しています

燕市では、男女共同参画社会の実現のため、「第3次燕市男女共同参画推進プラン」に基づき、様々な取り組みを進めています。その取り組みのひとつが男女共同参画講座です。

市民の有志の皆さんから実行委員として、一緒に学びながら企画・運営に携わっていただきます。

2022年度は、「対話で考えるだんじょきょうどうさんかく～じぶんイロ・あなたイロ～」と題して「性別の違いはどんなときに感じる？」「それはなぜ？」など、参加者同士での気軽な対話を通じて一人ひとりが持つイメージの違いを発見し、男女共同参画について考える機会となりました。

当日の様子

★「だんじょきょうどうさんかく」ってなんだろう？
対話のきっかけとして、4つのテーマに関連したファシリテーターご自身の経験や身近なエピソードをお聴きしました。



★「暮らし」や「仕事」、「家庭」といった切り口から、イロ・イロと考え、対話を行いました。



★幅広い年代の方が参加され、和気あいあいとした雰囲気で見聞交換を楽しみました。



2023年度 男女共同参画講座の実行委員を募集します

- 市内在住または在勤で18歳以上の人
- 実行委員会の開催は平日夜を予定
- 4月7日(金)までに市ホームページの申込フォーム
または電話(☎0256-77-8361)にてお申し込みください

https://www.city.tsubame.niigata.jp/sos-hiki/kikaku_zaisei/2/26/1/13772.html

